

令和2年度 八代高等学校シラバス

教 科	英語	科 目	英語表現 I	学 年	1	類 型	
単位数	2	教科書	English Expression I Advanced be (IIZUNA SHOTEN)				
副教材	総合英語 be Voyage to English Grammar 3 rd Edition (IIZUNA SHOTEN)						

学習目標	基本的な例文や構文知識をもとに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝える能力を養う。
------	---

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達度自己評価 A B C
1 学 期	L1・2 時制	・学んだ文法・表現を使って、文を書くことができる。	☐ ☐ ☐
	L3・4 完了形	・自分や与えられた課題について文章を書くことができる。	☐ ☐ ☐
	L5・6・7 助動詞	・与えられた状況に置いて適切に話し、伝えることができる。	☐ ☐ ☐
	L8・9 受動態	・パラグラフの構成に基づいて文章を書くことができる。 ・自らの意見を適切な表現を用いて伝えることができる。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
2 学 期	L10・11・12 不定詞	・学んだ文法・表現を使って、文を書くことができる。	☐ ☐ ☐
	L13・14 動名詞	・自分や与えられた課題について文章を書くことができる。	☐ ☐ ☐
	L15・16 分詞	・与えられた状況において適切に話し、伝えることができる。	☐ ☐ ☐
	L17・18・19 関係詞	・パラグラフの構成に基づいて文章を書くことができる。 ・自らの意見を適切な表現を用いて伝えることができる。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
3 学 期	L20・21 比較	・学んだ文法・表現を使って、文を書くことができる。	☐ ☐ ☐
	L22・23 仮定法	・自分や与えられた課題について文章を書くことができる。	☐ ☐ ☐
	L24・25 接続詞	・与えられた状況において適切に話し、伝えることができる。 ・パラグラフの構成に基づいて文章を書くことができる。 ・自らの意見を適切な表現を用いて伝えることができる。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

学習方法	該当レッスンの演習問題に各生徒が予習で取り組む。 予習した内容をベースにして授業で解説を行う。 即興的な自己表現も授業中に行う。
------	--

評価方法	・定期考査 ・小テスト ・予習・提出物の状況 ・エッセイライティング(自由作文) ・パフォーマンステスト ※上記の項目を総合的に評価する
------	---